



岡山県合唱連盟機関紙

トウツティ 第63号

発行責任者：岡山県合唱連盟事務局長 山田 威夫

事務局：岡山市京山 2-3-9-601

TEL: 086-214-6523 FAX: 086-214-6559

電話受付は留守電対応となります。

<http://www.geocities.jp/jcaokayahome/index.htm>

編集者：岡山県合唱連盟事務局次長 筈尾 多美

E-mail: tamicchi@palette.plala.or.jp

合唱コンクール開催

第58回岡山県合唱コンクール
第44回中国合唱コンクール

長谷川冴子先生におほめいただきました!

8月21日、倉敷市玉島文化センターにおいて第58回岡山県合唱コンクールが開催されました。審査員には、長谷川冴子先生、鈴木捺香子先生、山下耕司先生、近藤安个先生、上月明理事長をお迎えし、15団体が日頃の練習の成果をホールいっぱいに表現しました。恒例の講評では、長谷川冴子先生よりたいへんおほめいただきました。開ロ一番に「中高生がすばらしい」とおっしゃり、年齢にあった発声や音楽的な指導と選曲がなされているので中高生が伸びているということ、それは岡山県の合唱全体がいい方向に進んでいることを意味していると、ともに喜んでくださいました。出場団体が少ないのが少し残念とも。今回このように評価していただけたのは、それぞれの団で指導されている先生方や団員のみなさんの努力の賜物であることはもちろんのこと、コンクールをはじめとする多くの発表の場を支えて下さっているみなさんのおかげです。今後とも合唱連盟の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

中国合唱コンクールは9月24日・25日に鳥取県民文化会館梨花ホールで行われ、岡山県合唱コンクールで推薦を受けた団体が出場しました。今大会は全体的にレベルが上がっていたということですが健闘しました。審査員は、浅井敬壹先生、大志万明子先生、片山みゆき先生、日下部吉彦先生、新見徳英先生。講評は浅井先生と日下部先生が漫才よろしく演奏についてのアドバイスをされました。指揮者ではなく客席の後ろを目指して歌うこと、選曲が偏っているので自分たちの団に合う曲を選ぶこと、中年女性の声がずいぶんよくなったが、それにくらべ中年男性の声はいまひとつ、ということでした。

さて、来年は出演関係者ならずとも岡山県大会会場に足をお運びいただき、少しずつ前進していることを一人でも多くの方に聴いて感じていただくと幸いです。また、中国合唱コンクールは岡山シンフォニーホールで開催されます。大会スタッフとしてのご協力も多々お願いすると思いますが、会場で中国地方の精鋭の演奏を聴いてください。

おかやま国体でたくさんの方が応援に行かれ大盛況だったように、ホールが聴衆でいっぱいになるといいですね。
(事務局 筈尾 多美)



部門	団体名	岡山大会	中国大会
中学 同声	高梁市立高梁中学校音楽部	銀	銅
	岡山市立上道中学校合唱部	銅	
	総社市立総社西中学校コーラス部	金	銀
中学 混声	総社市立総社西中学校合唱団	銀	銀
高校 A	岡山県立総社高等学校合唱部	金	銀
	岡山県立岡山城東高等学校合唱部	銅	
	山陽女子高等学校合唱部	銀	
高校 B	岡山県立倉敷青陵高等学校コーラス部	金	銅
	岡山県立高梁高等学校コーラス部	金 全日本理事長賞	金
大学	岡山大学同好会 Ensemble Lied	銀	銅
一般 A	コール・ゆうぶんげん	銀	
	レディース・アンサンブル	銅	
	J-dur	金 糸賀賞	銀
一般 B	女声合唱団萌え木	銀	金
	合唱団こぶ	金	銀

おかやま国体記念合唱団、活躍しました。



平成 16 年 1 月より練習がスタートした「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」記念合唱団の演奏が、11 月 7 日の「輝いておかやま大会」の閉会式を最後に終わりました。

酷暑のなかでの「夏季大会」。寒さと雨にたたられた「秋季大会」。そして晴天に恵まれた「輝いて！おかやま大会」。全国から集まった 4 万人余の選手、応援団のみなさまに岡山の合唱を伝え、また競技の原動力となることができ、とても光栄に思っています。

平成 15 年 3 月の公募から数えると実に 2 年半を越える大イベントでした。参加者のみなさん大変お疲れ様でした。前回の国体では、式典音楽隊の音楽を聞いてその道に進まれた方も多いと聞きます。記念合唱団のなかでも国体に関わるのは 2 度目の方もおられます。今回の大会でもそのような方が一人でもおられれば幸いです。

さて、国体が終われば来年度から、2 年後に控えている連盟の 60 周年記念演奏会に向けての取り組みが始まります。現在、研修部を中心に構想を練っていただいておりますが、国体に参加できなかった方も是非、大合唱の仲間に参加して頂ければと思います。
(理事長 上月 明)

「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」大成功！ 式典音楽隊万歳！！

岡山県国体・障害者スポーツ大会局 競技式典課 演技・音楽班



“ダダダ ムッダッダッ ダーン！” 「よっしゃー！」

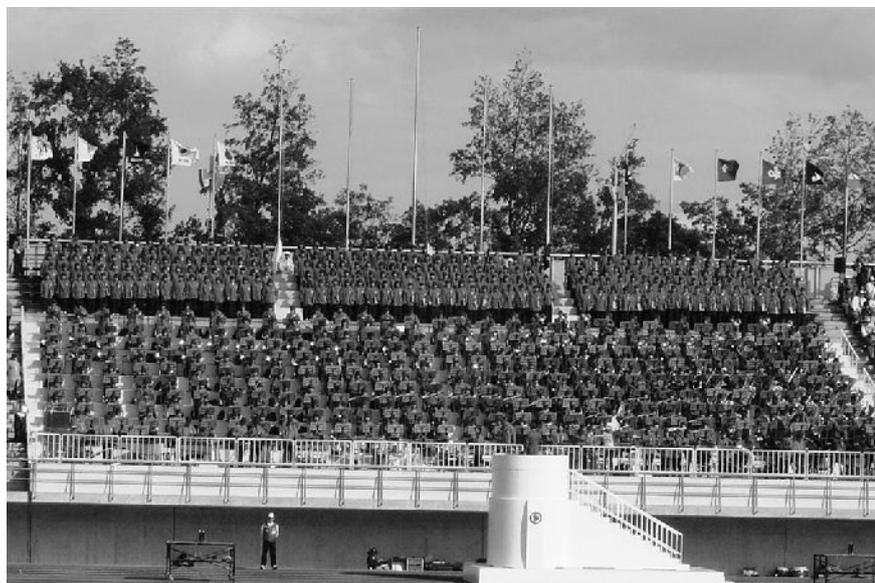
行進や炬火点火の最後に指揮者の傍らでガッツポーズをとっていた私。合唱隊の皆様！ お疲れ様でしたー！

県合唱連盟の皆様には式典音楽の初期準備段階から練習会・本番にいたるまで大変お世話になりました。私も国体局で式典音楽の準備にかかわり、もうすぐ 4 年が経ちます。めまぐるしく過ぎていった様々な式典音楽推進業務。順に振り返ってみたいと思います。まず 1 年目は先催県の調査・比較をし、さて岡山県はどうあるべきかと考え、県合唱連盟会長近藤安个先生に式典音楽部会長としてお助けいただきながら、基礎固めをした年でした。2 年目は楽曲構成、作・編曲依頼、式典音楽隊編成等に取り組み、年度最後には式典音楽使用曲検証会を無事開催することができました。連盟のご協力で合唱団の編成から演奏までしていただき、案が形となった一年でした。3 年目は CD・楽譜の制作、練習会等を実施いたしました。中でも CD の音源収録では、本格的な機材とスタッフで真剣に音を追求したことが思い出されます。ホールに素晴らしいメロディが響き渡り、開催年が楽しみになる年でした。そして、今年…。式典本番に向けた段取りに終始する毎日でした。式典音楽隊指揮者である県合唱連盟理事長上月明先生をはじめ、合唱隊の多くの皆様にいろいろな面で支えていただき、見事、式典音楽の演奏を成功裏に終えることができました。選手団にも歌声により勇気とパワーを与えていただき、晴れて岡山県選手団は悲願の天皇杯獲得、そして皇后杯も手中に収めることができました。お陰様で感動と喜びにあふれた式典が開催でき、感謝の気持ちでいっぱいです。岡山県合唱連盟の今後益々の発展を祈念いたしまして、お礼のことばとさせていただきます。本当にありがとうございました。
(國光 憲二)



合唱連盟のみなさんとは、式典音楽使用曲検証会から始まり、CD 制作、そして数々の練習会を経ての国体夏季大会、秋季大会、そして障害者スポーツ大会と約 2 年間ご一緒させていただくことができました。

私ごとですが、この国体の仕事に関わるまでは中学校の教員をしておりましたので、周りは生徒と教員という狭い世界でした。この国体を通して、学生のみなさんからご年配の方、そして指導者の先生方など、幅広い方々と『音楽』を通して出会い、この大きなイベントに向かってみなさんとひとつになり、そして人の輪も大きく広げることができました。このみなさんとの出会いは、ずっと私の宝物として大切にしていきたいと思います。何をするにも初めてなことばかりで、いつも準備等至らない点が多々あり、ご迷惑ばかりかけてしまいましたが、みなさんの協力があり大成功をおさめることができました。ありがとうございました。これからもこの出会いと、みなさんとの輪を大切にしていきたいと思います。本当にお世話になり、有難うございました。
(難波 愛)



曲です。中学生でした。

会場で聞いたよ～！

12 時開会で、県営グラウンドに着いたのは 11 時ちょいと過ぎたころ。正門を入った所で。コーラスグループと遭遇。顔見知りの方が次々に…。「今日はしっかり聞かせて頂ま～す。がんばってください～い。」と、右と左にわかれまして。着てらっしゃるのが、ヤッケ？ジャンパー？（今は何て言うのかなあ）に、野球帽？…そのまま本番も？？？と、思っていました。が、スタンドに整然と並ばれているのを見ると、なんと鮮やかでキレイだったこと！秋の空に負けず劣らず晴れやかでした。そして、歌声も会場中に力強く響いていました。！

♪わかあ～い、ちっからあ～と、かああん～げえきいに～♪一緒に歌えました。楽しかった。3？年前、ブラスバンドで練習した

* 音楽隊の写真は高原さん撮影 (女声合唱団岡山なでしこ 高原 早苗)



夏季大会：炎天下のプールサイド



秋季大会：土砂降りの中のリハーサル

参加して良かった！

炎天下の児島マリンプール、雨のリハーサル、風と寒さの秋季大会開会式、まさに自然との闘い？の国体音楽隊の合唱も、感動的な全国障害者スポーツ大会の閉会式で幕を閉じました。思えばモデル合唱団の練習から約2年、今、参加して良かったという静かな感動に満ちています。

私は、今までにもいろいろな場所で歌ってきましたが、どんな場合でも演奏者として注目される存在でした。今回は野外で、マイクで、言わば式典の裏方でそれほど注目もされず、初めは少し物足りなさを感じておりました。

しかし本番が始まると、桃太郎スタジアムに入場してくるアスリート達、歓迎演技の圧倒的な人々のエネルギー。それに、いかに多くのボランティアの方が誘導や道案内など大会サポーターとして動いていることか。一人一人の小さな力の集合がこの大会の大きな成功を導いていました。その中に私も参加させていただき、今は大変幸せに感じております。

それも、私達を指導していただいた先生方、練習ピアニストの方、運営スタッフ、事務局の方他関係各位のご尽力のおかげとこの場を借りて御礼申し上げたいと思います。

(瀬戸内混声合唱団 畠山 裕二)

杉並児童合唱団倉敷公演に賛助出演して

倉敷少年少女合唱団 難波 夕鼓

団員一人一人の笑顔が生き生きと輝く杉並のステージを見ているうちに、かつて(大昔?)自分が初期の倉敷少年少女合唱団員だったころ歌った、杉並の楽しいポピュラー曲が次々と思い出されてきました。「青い空」「パフ」「野生のエルザ」・・・もちろん他の芸術的な曲にも好きなものはありましたが、杉並の合唱曲には子ども心にも格別の魅力があり、ワクワクドキドキ、歌うことの楽しさを教えてくれたように思います。

私たち倉敷少年少女合唱団は「美しい発声による美しい合唱」を目標にかかげ、練習を重ねています。しかし、かつて中学生・高校生だけで50人近くの団員が在籍し、レベルの高い合唱曲にも楽に取り組めた以前の「シニア」の時代とは違い、現在は小学1年生から高校生までの子どもたちが混じり合って活動している状態です。「声の質」「音楽的な能力」「適した曲」…すべてにおいて小1と高3では違いがありすぎて、同時に指導していく事に、昔とは比べものにならない難しさを感じてしまうこともあります。(練習中に爆睡!(笑)するちびっ子もいます。)

そんな時でも、かつて自分が杉並の合唱曲に「歌って楽しい!」と心をときめかせた…そんな経験をこれからの団員たちにも伝えていきたい・・・そう思いながら見る、杉並のステージにあふれる子どもたちの笑顔は、私たちのお手本として、とてもレベルの高いものでした。

世界合唱シンポジウムに参加して

岡山県合唱連盟理事長 上月 明

平成17年7月28日から8月3日まで世界合唱シンポジウムが京都で開催されました。岡山から2往復し、延べ5日間参加することが出来ました。コンサートやセミナーで合唱漬けの日々は夢のようなひとときでした。

一番感じたことは、圧倒的な声の美しさでありました。プロ・アマチュアを問わず、アジアの国であれヨーロッパの国であれ、それぞれの国に美しい声があるということです。最近では声そのものよりも、とかくテクニックや表現に目を向けて合唱を聞いていた自分を反省しました。やはり、合唱の基本は声なのだということを再確認し、声そのものを磨き上げる姿勢はもち続けたいと痛感した次第です。次に感じたことは、世界中には様々なスタイルの合唱が存在するという事です。日本の合唱界では現代の日本人作曲家による作品が数多く演奏されていますが、世界的には古典的な曲や民族色の強い曲等様々な種類の曲が演奏されています。しかもア・カペラで演奏されることが通常なのです。

大げさな言い方ですが、世界合唱シンポジウムに参加して合唱観が大きく揺さぶられました。楽しい合唱とは…改めて問い直し、今後の活動につなげていきたいと思ひます。

おかあさんコーラス大会 大成功！！

第28回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会は、7月3日、岡山市民文化ホールにて行われました。おかあさん大会を盛り上げるための話し合いで決定したアイデアが盛り込まれた初めての大会は、みんなで喜び、なごやかな大会となり大成功でした。写真と共にごらんください！



熱心にモニターに見入るみなさん



ドキドキの第2代表抽選



審査員の清原浩斗先生
「出演団体の実力の差の開きがない。みんなBクラスの上ですね。」
会場からもおかあさんコーラスは本当に上手になったね、という声が聞かれました。



全体合唱では佐々木先生のフ
ンポイント・レッスンで、「花
の街」をみんなで歌いました。
とてもきれいに歌えました。



キューピーさんのおみやげ。
高原さんがおみやげコーナーを
きれいに作ってくださり、キュ
ーピーさんも喜んでくださいま
した。おいしかったです。(^^♪

「ひまわり賞」「かがやき賞」そして長崎へ コール・ココ 嶋田 むつみ

7月3日、岡山市民文化ホールでの全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会において、私たち「コール・ココ」は、「ひまわり賞」とともに本年度から創設された「かがやき賞」をいただきました。「ピカピカな衣装がよかったのかしら」などと話していたら、団員がかがやき聴衆に感銘を与えた団体に贈られるとのこと。松本先生のご指導の下、「生真面目」とはいえないけれど、こつこつと励む私たちの練習が「輝いてるね」と評価していただけたことは、実はかなりうれしいのです。

「長崎」での全国大会を、なぜか「湯布院」と間違える団員の多い困った合唱団ではありますが、大会までの約2ヶ月間、夏休み返上で練習に取り組みました。

長崎での全国大会はとても心地よいものでした。大勢のスタッフの方がとにかく笑顔で迎えてくださったことは、私たちに安心感を与えてくださいました。そして何より、10時のオープニング時点で会場が満席だったことに感動しました。おかあさんコーラスの勢いと長崎の合唱を愛する方々の優しさを実感することが出来ました。

今、あのとときのMDや写真を眺めています。全国から集ったすばらしい合唱団の数々を聴き、また新たな気持ちが始まっています。

たくさんの人の協力のおかげで、長崎の舞台に立てたことを改めて感謝いたします。

感激の全国大会初出場

コール サファイア 書記Y

「コール サファイア、ひまわり賞！」この言葉と同時に頂いた全国大会出場の切符。そのどちらもが私達には初めての喜びであり、感激、快挙でした。その嬉しさに涙した岡山大会から約1ヶ月、長崎へ向けて結成28年になるサファイアは、皆が一つになり奮起しお互いを気遣いながら、素敵な表情、いい顔になって32名揃い長崎へ向けて出発しました。車中はかつて女学生だったミセス達のちょっとした修学ならぬ修業旅行でした。そして訪れた長崎ブリックホール、そこで見聞した全国大会の歌声は入団4年目の私には驚きと、感動と、ため息の連続でした。それから迎えた本番。高揚と不安、緊張は最高潮です。でも、不思議なことにステージではとてもいい気持ちで歌えるのです。そして歌い終えてこみ上げてくる感動、幸福感と達成感に目頭が熱くなってきたことを憶えています。同時にそれらを与えて下さった先生、団の皆様へ改めて感謝したステージでした。そして、ふっと周りを見ると皆の益々素敵な表情、いい顔がそこにありました。歌い終えた曲そのもの「ほんとにきれい」なんです。最後に私達は「長崎の地」で行われるこの大会に初参加させて頂くことを謙虚に受け止め、先人達への祈りと共に歌声を届けられたらと願い、大会に臨みました。そしてそれぞれの感慨をもって帰岡できたと思います。末筆になりましたが大会運営にあたりご尽力された関係者の皆様、長崎の皆様のお心遣いに心より感謝申し上げます。



近藤指揮者賞を受賞して

康広 美千子



この度、思いがけず賞を頂くことになり、名前を呼ばれた時には戸惑い、驚きました。

私が合唱指揮を始めたのは、コール・ソフオーグラナという地域のおかあさんコーラスの団体でした。当時、2月に行われていたおかあさんコーラスフェスティバルに参加していました。前任者から引き継いで、最初に選んだ曲が「チム・チム・チェリー」。三拍子の一つ振りの難しさも分らず、後日、映像を見て手が音楽の後からついていくのに気づく有様でした。

その後、北公民館にすみれコーラスが発足し、相次いで近辺の公民館にもコーラスが誕生しました。いずれも、子育てを終えた合唱経験のない女性達が中心です。それでも何年か続けていると、歌が心の中で大きな割合を占めて生きるエネルギーとなって来るのを感じます。そして、音楽の深い喜びと感動を味

わい、次の段階へ進みたくなるのです。その事は私にとっても大きな喜びです。今回の受賞は、頑張れよという励ましと受け止め、これからも素敵な合唱を求め、精進してゆきたいと思います。

最後になりましたが、近藤先生を始め合唱連盟の皆様、これまでお世話になった先生方に申し上げると共に、団員や多くの合唱の仲間感謝致します。

中国合唱コンクールに参加して

高梁高等学校 J-dur 指揮者 森野 啓司



コンクール県大会後、原稿を書くように依頼され、どのような内容のことを書けば良いのかと尋ねたところ、日頃どのようなことに気をつけて指導しているかを書いて欲しいと言われました。自分自身の練習の仕方についてあまり振り返ったことも無かったので少しばかり自己分析を試みようかと思えます。

とは言え、私の練習方法は一つ特殊なものではなく、極めてオーソドックスなものだと思います。変わった練習方法など一つありません。ただあるとすれば、私自身「合唱は声楽で有るべき」という信念が強いと言うことが特徴と言えるのかも知れません。何年か合唱のコンクールを経験して「合唱」と言うジャンルがクラシックから逸脱してきていることに危惧を覚えたことがあります。声楽ではあってはならない発声や表現方法が多用され、そういった団体がコンクールで上位に入ってしまう事に驚きと悲しみを隠せませんでした。勿論素晴らしい声と、表現方法を持った合唱団も上位に入るわけですが、声楽のコンクールでは、いくら音量があり、インパクトが強くて、いわゆるクラシック音楽の本質から逸脱した表現や声はタブーであり、絶対に上位に入賞することはあり得ません。ただ誤解して欲しくないのは、私自身クラシックでない音楽をすべて否定しているのではありません。実際クラシック以外の音楽も大好きで、良く聞きます。要は、少なくとも合唱コンクールはクラシック音楽のコンクールであって欲しいと言う意味です。

私は合唱の発声法や音楽作りと、ソリスト用のそれとの間に違いがあるとは思いません。もしも違うならば私は明日から合唱の指導を続けることは出来なくなります。ただ、声楽的な声を作ることは容易ではないし、時間も掛かります。コンクールまでに声作りが間に合わないことも起こり得ます。そしてリーダーたちは、正しい声と音楽を判断する耳の精度を常に高く保っておく必要もあります。

私の練習方法は「美しい曲はより美しい歌声で表現する」「カッコいい曲はよりカッコよく生き生きと歌う」「メッセージ性の強い曲は心の底から表現する」本当にただそれだけしかありません。今まで私の面倒くさい代わりに懲りもせずついてきてくれ、そしてそれに答えてくれたメンバーたちに巡り合えたことに感謝するのみです。その大切なメンバーたちの為にも、これからもこの無限の課題に対して私自身「歌」を勉強し続けていかななくてはなりません。「音楽に王道無し」です。

最後に今回の中国大会の感想ですが、合唱の世界はひと頃よりも明らかに声楽的・クラシック音楽的な方向に進んできていると思います。良い方向性で声楽（音楽）を勉強された方々が増えてきたのではないのでしょうか。とても嬉しいことだと思います。

ぴよぴよ ひよこ 通信



今後の行事予定をチェックしてください！
大きな行事が目白押しです。
ご協力をお願いいたします。

平成 17 年度予定行事

- H18. 1. 22 臨時総会 (岡山県立図書館)
- H18. 2. 12 第 13 回ヴォーカルアンサンブルコンテスト (早島町民総合会館ゆるびの舎)

平成 18 年度予定行事

- H18. 4. 16 平成 18 年度定例総会 (会場未定)
- H18. 5. 27~28 春季合唱講習会 (27 日: 津山婦人青年の家/津山市 28 日: ルネスホール /岡山市)
- H18. 6. 4 第 59 回岡山県合唱フェスティバル (岡山シンフォニーホール)
- H18. 7. 2 第 29 回全日本おかあさんコーラス岡山大会 (岡山市立市民文化ホール)
- H18. 8. 6 第 59 回岡山県合唱コンクール (岡山シンフォニーホール)
- H18. 9. 23~24 第 45 回中国合唱コンクール (岡山シンフォニーホール)

平成 19 年度以降の予定行事

- H19 岡山県合唱連盟創立 60 周年記念演奏会 (内容検討中)
- H20. 11. 22~23 第 61 回全日本合唱コンクール全国大会 大学・職場・一般部 (岡山シンフォニーホール)
- H21 第 25 回国民文化祭プレ大会
- H22 第 25 回国民文化祭

お疲れ様でした!

2005年が終わろうとしています。「おかやま国体」合唱団が2年前に始まった頃は、どうなるだろうかと不安もいっぱいでしたが、大成功で終わることができました。たいへん忙しい行事スケジュールであったにもかかわらず、みなさまにご協力いただきありがとうございました。心より感謝いたします。

さて、平成 19 年度は岡山県合唱連盟創立 60 周年です。戦後間もなく生きていくことさえたいへんだった時代に、平和の歌声を響かせようと合唱連盟を創立し継続させてきた先人の方々のご苦労と努力は並大抵のものではなかったと想像します。記念演奏会では 60 周年をお祝いしつつ、歌うことができる喜びをお客様に聴いていただきましょう！現在のところ、講師には浅井敬壹先生、松下耕先生が決定しています。今年、広島で行われた全国大会 中・高校部門で審査員として来場されていた松下先生には、上月理事長自ら「よろしくおねがいします！」とあいさつに行かれ「なんとかします！」と快諾を得ています。素晴らしい企画になること間違いなし！

みなさま、奮ってご参加ください。
(事務局 筈尾 多美)

その他の連絡

★臨時総会、近日開催

1 月 22 日、岡山県立図書館にて開催します。詳細は後日連絡いたします。
万障お繰り合わせの上、ご参加くださいませ。

★岡山県文化連盟機関誌

合唱連盟も加盟している岡山県文化連盟の機関誌が発刊されています。部数が少ないので、みなさまのお手元にお届けすることができませんが、下記HPにて閲覧いただけます。
<http://www.o-bunren.jp/kikannshi.html>

RSKキャンペーン

救え! 戦場の子どもたち!!!

岡山県合唱連盟創立当時からご支援くださっているRSK山陽放送さんが今年度は「Peace For The Children」というサブタイトルのもとに10月からキャンペーンをスタートされているのでご紹介いたします。

戦争や災害で苦しむ世界のこどもたちを救済し、命の尊さや平和について考える機会をもってもらうために開催され、国際貢献・国際交流、人づくり、地域文化の向上などの面で大きな評価を得られているそうです。

詳細は下記HPにてごらんください。
<http://www.rsk.co.jp/senjyo/index.html>

編集後記 (〇)

次号の発行: 3月 ⇒ 原稿締め切り: 2月末

Tuttiの発行が遅れてご迷惑をおかけしております。4月の異動でたいへん忙しい部署に配置になり、なかなか時間がとれない状況です。写真を撮ったり原稿を集めたりしていただいてお手伝いくださる方を募集します。

私も国体に参加しました！歌い、踊り、スポーツし、応援する。すがすがしい祭典でした。そして、平和だからできることなのかなって、ふと桃太郎スタジアムで歌いながら思いました。他の県で開催される国体もテレビで放送されたらな〜とすっかり国体ファンです。

投稿のあて先は編集局へ！
〒703-8204
岡山市雄町487-1 筈尾 多美
E-mail: tamicchi@palette.plala.or.jp
FAX: 086-279-8211